

折に触れ 四字熟語

NO. 218 〔阿鼻叫喚〕 あび きょうかん

< 意味 > 非常な辛苦の中で号泣し、救いを求めるさま。非常に悲惨でむごたらしいさま。地獄に落ちた亡者が、責め苦に耐えられずに大声で泣きわめくような状況の意から。

表 言 : 阿鼻叫喚をきわめる

用 例 : 幾十万にも及ぶ広島在住の無辜^{むこ}の民を一瞬にして阿鼻叫喚の地獄に晒^{さら}したということがあります。<井伏鱒二・黒い雨>

語 釈 : 「阿鼻」は仏教で説く八熱地獄の無間地獄。現世で父母を殺すなど最悪の大罪を犯した者が落ちて、猛火に身を焼かれる地獄。「叫喚」は泣き叫ぶこと一説に八熱地獄の一つの大叫喚地獄（釜ゆでの地獄）の意。

一 言 : いつの戦争どこの戦争でも、戦場はすべて無間地獄ではないでしょうか。

参照文献 : 岩波書店「四字熟語辞典」